

# 『宝くじ松』配布事業の概要

## 1. 趣旨と目的

マツは、海岸林の主要構成種として潮風・飛砂を防ぎ、津波のエネルギーを弱めることから、内陸にある農地や宅地を守ります。また、里山の保全や生態系の保全に大きな役割を果たし、崩壊地等においては深根性の長を生かして災害防止林として機能するとともに、優美な樹形から優れた修景効果をもっています。このようにマツは国民生活に深い関わりをもっている樹木です。

今日あるマツ林の存在は、先人が様々な災害から生活を守るために、血のにじむような造成努力を重ねてきた結果であり、これを受け継ぎ、大切に保護育成し、次代に引き継ぐことは、現代人の責務です。

この大切なマツがマツ材線虫病により突然枯れる被害が、全国的に広がっています。

被害を防ぐため、全国の国立・公立の関係機関では懸命の努力を払っていますが、被害を完全に防ぐには至っていません。

改めて、私たちの一人ひとりがマツに高い関心を持ち、少しでもマツ枯れを防ぐことに協力することで、わが国のマツ、マツ林を健全に維持、再生することができると考えます。

(一財)日本緑化センター(以下「当センター」という)では、(一財)日本宝くじ協会のご支援のもと、助成金を受けてマツを各地に植栽し、マツの保護育成技術の普及啓発と宝くじの宣伝を図り、マツ枯れにより失われた緑地の復旧と、国土の保全を図るために本事業を行います。

## 2. 配布対象団体

原則として、NPO法人及び民間団体を優先とし、応募状況により市町村も対象とします。都道府県、政令指定都市、企業は対象外とします。

## 3. 配布対象箇所(植付け箇所)、申込件数及び助成額

(ア) マツの植付けを行なう場所は**公共用地で一般の人の目にふれる場所**であることを原則とします。

具体的には公園・山林・海岸・公営の施設(運動場・図書館・老人ホーム等)、公開されている神社仏閣等が考えられます。また、被災された海岸林再生にもお役立てください。

(イ) 申込件数は1申込み団体当たり1件とします。

(ウ) 希望助成額は、20万円(下限)～100万円(上限)程度とします。当該年度の申込希望総額により変動します。

## 4. 配布するもの

(ア) 植栽する**マツ苗の代金**

※植栽地域に自生するマツ属(*Pinus*)の樹種(クロマツ、アカマツ、リュウキュウマツなど)の苗木を対象とします。

※**抵抗性の苗木**をご使用ください(入手にお困りの場合はご相談ください)。

(イ) 「宝くじ松」と表示した、植栽したマツ苗に取り付ける**ラベル**(図1)

(ウ) マツ植栽の趣旨と当センター並びに(一財)日本宝くじ協会の寄贈であることを記載した**説明看板**(図2・3)

注 1) 苗木送料・整地費・植付費・植付資器材費、表示ラベル及び説明看板設置費等は助成対象に

なりません。

- 2) 苗木代金の支払いは、すべての実施団体が報告を完了した後の年度末3月下旬になります。
- 3) 苗木につける表示ラベル及び説明看板は当センターで手配・作製し現物を送付します（看板は組み立てた状態で送付します）。



図1 ラベル寸法と表示内容(アルミ板)

看板表示内容 (カラー)



図2 説明看板表示内容

説明看板

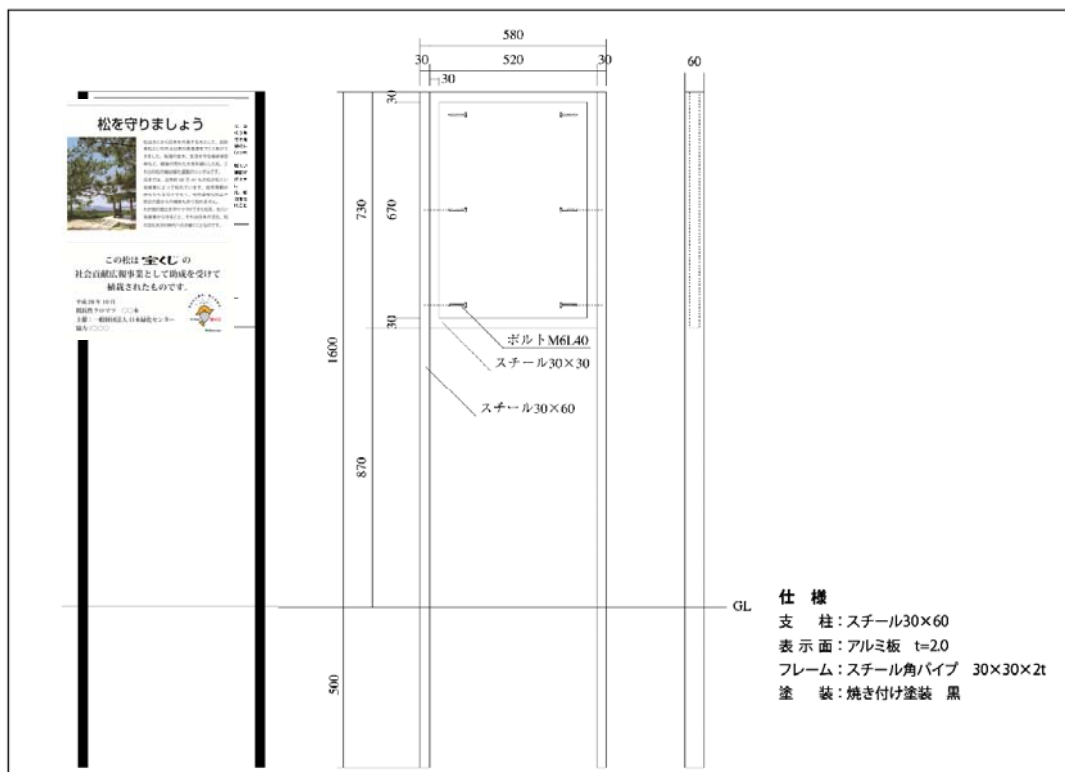
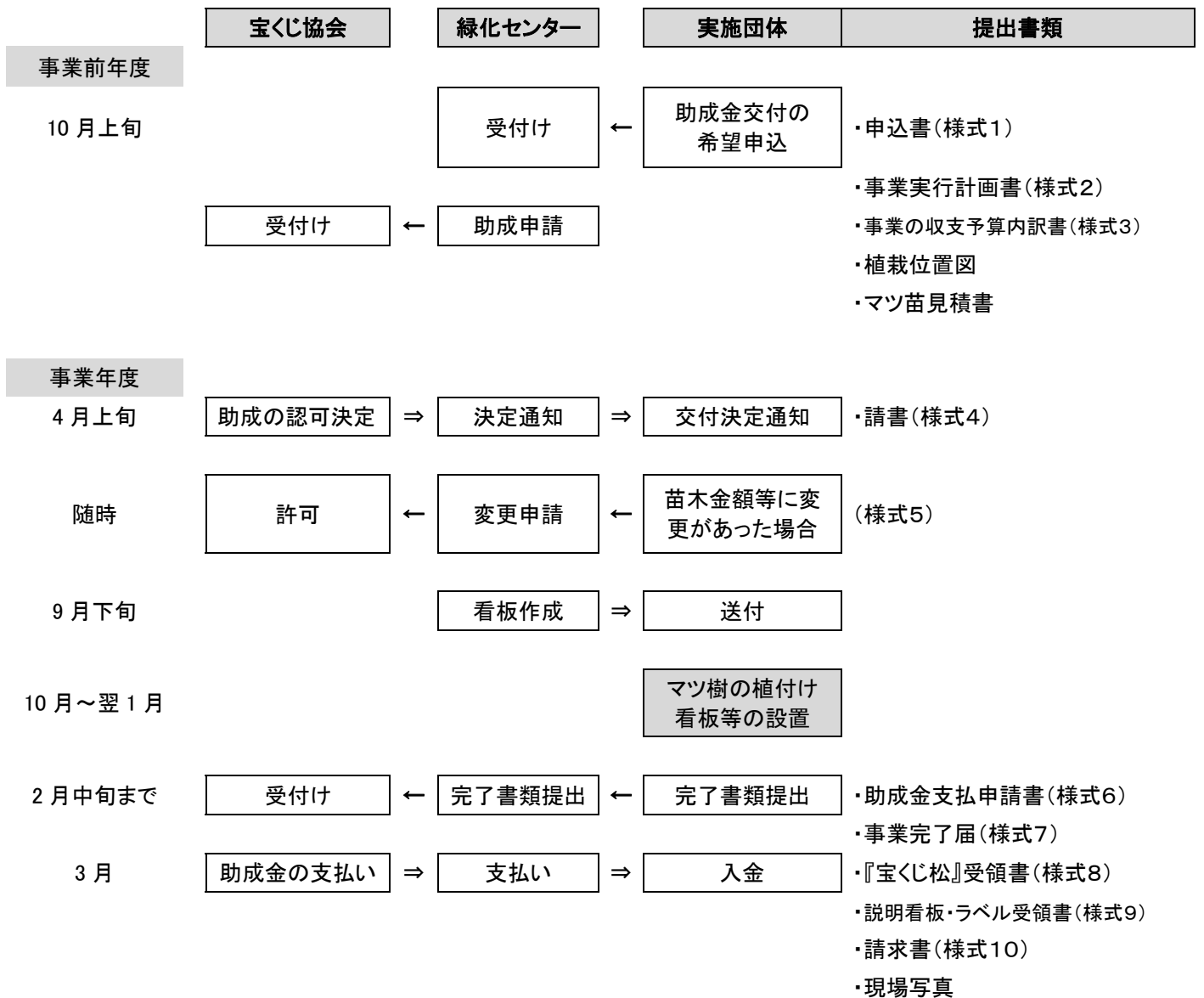


図3 説明看板寸法図

## 5. 配布の条件

- (ア) 前掲3の「公共的場所」かつ「一般の人の目にふれる場所」であること。
- (イ) 前掲4の(イ)、(ウ)に掲げる表示ラベルと説明看板の設置が可能な場所であること。  
説明看板は植栽地付近の目立つ場所に設置いただきます。
- (ウ) 秋植え(実施年度内の10月から翌1月中旬に植栽)として対応可能なこと(実施年度の春植えをご希望の場合はご相談ください)
- (エ) 2月中旬までに一切の手続きが終わり、完了報告が提出できること。
- (オ) 植栽後も、苗木の生育に必要な保育(下草刈り、松葉かき、つる切り、間伐など)が可能なこと。
- (カ) 実施5年後に、生育状況の報告と写真の提供をいただきます。

6. 事業実行の事務手続きの手順



7. 申込に必要な書類

- ・申込書(様式-1)
- ・事業実行計画書(様式-2)
- ・事業の収支予算内訳書(様式-3)
- ・植栽位置図(苗木と看板の配置図)
- ・マツ苗見積書(原本/苗の産地を明記してください)

8. 様式のダウンロード

当センター「マツ再生プロジェクト」ウェブサイトから様式集をダウンロードできます。

<http://www.pinerescue.jp/torikumi/takarakuji/download.html>

9. 連絡先

本件に関するお問い合わせは下記にお願いします。

〒107-0052

東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル

一般財団法人 日本緑化センター 企画広報部 八十島 (やそしま)

電話：03-3585-3561 FAX：03-3582-7714 E-mail：[yasoshima@jpgreen.or.jp](mailto:yasoshima@jpgreen.or.jp)

緑化センターホームページ <http://www.jpgreen.or.jp/>

「マツ再生プロジェクト」ホームページ <http://www.pinerescue.jp/>

以上